



ぷっくりハート育成事業 長沢小公開授業

令和4年1月20日(木)に、長沢小学校の公開授業と学校版寺子屋がありました。教育委員や本川中学校の先生方等16名が参観しました。

第2・3学年道徳科
(A-2)正直, 誠実)

第2学年: 主題名「正直な心で」教材名「すてきなえがお」
第3学年: 主題名「明るい心で」教材名「長縄大会の新記録」

導入では、2・3学年の児童が「正直」という言葉の意味について、これまでの経験をもとに振り返った。

第2学年では、わざとではなくても失敗したとき、正直に謝れるかということ、教材の中の「わたし」の心情に重ねて考えた。第3学年では、ストップウォッチを押し忘れてしまったことを友達に黙っていようか、それとも正直に言おうかを悩む気持ちについて、タブレットを活用して考えた。授業の最後には、3人の児童が円になり、わざとでなくとも失敗したときどうするかについて意見を交流した。



第5・6学年道徳科
(A-5)希望と勇氣,
努力と強い意志)

第5学年: 主題名「くじけないで」
教材名「世界最強の車いすテニスプレーヤー 国枝慎吾」
第6学年: 主題名「やりとげるために」教材名「長縄大会の新記録」

導入では、5・6学年の児童が「やりとげたこと」について、これまでの経験を振り返った。そして、「何かにチャレンジをしてやりとげるのにいちばん必要なこと」について、考えを交流した。

第5学年児童は、これまでの自分の経験を登場人物「ぼく」に重ね合わせながら、共感的に理解していた。第6学年では、学習リーダーの進行で進む授業であった。困難な道を選び医療にまい進する笹船の思いについて、考えを伝え合っていた。5・6年生とも、教材の人物の生き方から自分たちが今後どのようにしていきたいかについて意見を交流させ、授業の振り返りをした。



授業者の振り返り

仁井田教諭

- ・ 内容項目をそろえた授業にしているが、なかなか深い話し合いにはいたらない。
- ・ 2年児童は自発的に発言できにくい、今日は自分の考えを黒板に書けた。
- ・ 3年生は間接指導になりやすいので、タブレットを活用している。

垣内教諭

- ・ 話し合いの場面をどう深めていくかが課題である。
- ・ 価値項目は同じでも、内容が違うことがあるので困っている。
- ・ ごく少人数なので、どう授業を作っていくかが課題である。

参観者より

- ・ 一人の学年は意見の交流ができないので、大変だと思う。
- ・ 学習リーダーは流れを進めるだけでなく、対話・話し合いに持って行く働きを大事にしなければいけないと思った。
- ・ 発問の工夫が必要(ダミーの意見を考える等)



菊池先生より



対話・話し合いが成立する条件は①否定しない②複数人いる③答えが分裂する④自分の考えを持っている、等があります。ワークシートの内容も、答えが分裂するようなものでないと、発表させて終わりになります。教師が学びのポイントを押さえましょう。子どもに丸投げでは対話・話し合いはできません。話し合い力＝学級力です。日頃から「違いを見つけるといいよ」等と指導しましょう。

学校長より



道徳では、多面的に考えることが大事だと思うため、「考え、議論する道徳」に変えていきたい。

それを複式で、教科書教材を基本として学習するための方策を研究している。併せて、今後、一人学年が増えるため、全校道徳や、学級枠を外した異学年合同の道徳の授業も計画し、対話を深め、コミュニケーション力を育てることにもつなげたい。

学校版寺子屋「少人数でも深まる道徳の授業」

①「35時間」の道徳授業をつくる

1・2年生であれば内容項目は19あります。1年間の授業時数35時間から差し引くと、

$$35時間 - 19時間(1・2年生の場合) = 16時間$$

この16時間をどう活用するか、何をするかです。皆さんは「どの学年でもやりたい」と思う、とっておきの授業がありますか？書籍を参考に「やってみたい」と思えるような自分に合うネタを集めましょう。

私は1年間の最後の道徳の授業では「今まで勉強した内容項目の中で、あなたが大事にしているものを3つ書き、1位から3位まで順番をつけましょう」と必ず子どもに聞いています。なぜその内容項目を選んだのか、その理由を考えることで、子どもは自然に話し合います。

②対話の授業をどのように展開していくか

「A君は、だまっておくべきである。○か×か。」等の発問をすると、意見が分裂します。よく見かけられる道徳の授業のように教科書を順に追っていくと、時間もかかる上、ありきたりな答えしか出ません。「今日はこういうことを勉強しましょう」と言ったり、ワークシートを用意したりすると、つまらない授業になります。教材の提示の仕方としては、以下のようなものがあります。

- ①教材を全文見せるのではなく、切って提示
- ②「Aくんの取った行動が一番よかったか」と問う

②の「一番」がミソです。色々な行動が出ることで、自分だったらどれかを決めて、意見を交わすことができます。道徳で身に付けたい力は「行動選択能力」だと思います。多様な考えの中で、「自分ならどうする」と選ぶことができる子どもを育てましょう。



教育研究所より

公開授業をしてくださった長沢小学校の皆様、ありがとうございました。公開授業までに何度も校内で検討を重ねたことをお聞きしました。学校全体でこの事業に取り組んでいただけたことを感謝いたします。また、校長先生の情熱を持ったご挨拶に心を打たれました。